土地家屋調査士試験

択一式過去問解説講座ガイダンス
～「合格するための過去問学習法」～

AGAROOT
ACADEMY

調査士試験の択一問題の特徴

AGAROOT ACADEMY

- 20問という比較的少ない出題数
  - １問の重みがある
- 出題にムラがある
  - 民法は総則・物権・相続
  - 不登法にも頻出論点が存在
- 択一と記述式を併せて２時間半で解く
  - 択一を早く終わらせるほど，記述式に時間が使える
- 択一と記述式は同じ不動産登記法
  - 択一知識がそのまま記述式で出題

調査士試験の択一問題の特徴を把握した学習が重要

AGAROOT ACADEMY

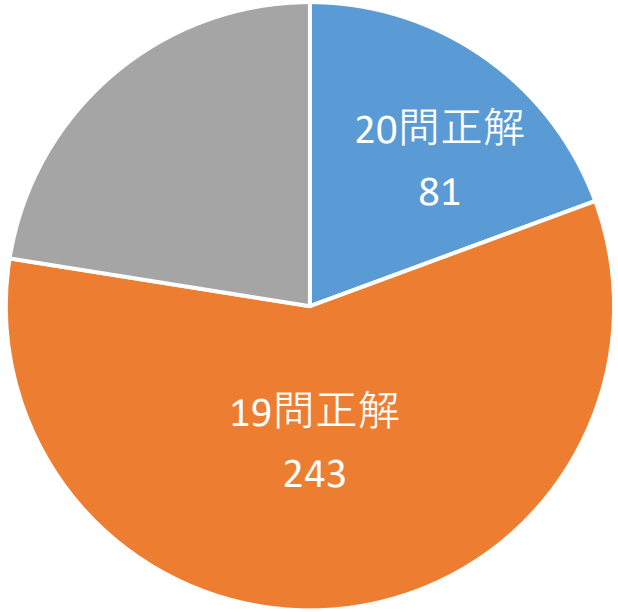
- 20問という比較的少ない出題数
  - １問の重みがある→すべての肢を理解
- 出題にムラがある
  - 民法は総則・物権・相続
  - 不登法にも頻出論点が存在

  } 年度別に解く
- 択一と記述式を併せて２時間半で解く
  - 択一を早く終わらせるほど，記述式に時間が使える→ペースを意識
- 択一と記述式は同じ不動産登記法
  - 択一知識がそのまま記述式で出題

→記述式でどう問われるか？を考える

H30合格者の特徴

- 合格者の77％が択一を19問以上正解している
- 19問取ると，記述式の基準点で合格点に届く



「択一式過去問解説講座」の５つの特徴

AGAROOT ACADEMY

① テキストも解説も年度別に収録
② すべての問題を約４分の短いチャプターで収録
③ 現行出題形式となってからの，すべての過去問のすべての肢を解説
④ 早く正確に解くための考え方
⑤ 記述式問題へつなぐ実践的な解説

「択一式過去問解説講座」の特徴①

AGAROOT ACADEMY

テキストも解説も年度別に収録

- 20問を１セットにして学習しやすく
- ペースの把握
- 全体知識の維持
- 分野ごとの索引も収録

「択一式過去問解説講座」の特徴②

AGAROOT ACADEMY

約４分の短いチャプターで収録

- 見たいときにその問題の講義だけを視聴
- 手間がなく，効率がよい
- 見る回数も増える

「択一式過去問解説講座」の特徴③

AGAROOT ACADEMY

すべての過去問のすべての肢を解説

- 繰り返し出題される論点についても，省略せずに解説
- 重要度を意識しなくても，結果的にバランスの良い学習ができる

「択一式過去問解説講座」の特徴④

AGAROOT ACADEMY

早く正確に解くための考え方

- 早く解くための実践的な答えの出し方
- 周辺論点も含めた正確な解説

「択一式過去問解説講座」の特徴⑤

AGAROOT ACADEMY

記述式問題へつなぐ実践的な解説

- 記述式を解くために必要な知識は択一知識で充分
- 「記述式問題にどう活かされるのか」まで，一歩踏み込む